

平成 25 年度第 2 回奈良市スポーツ推進審議会会議録

開催日時	平成 26 年 1 月 28 日（火） 午前 10 時から	
開催場所	奈良市役所 北棟 4 階 第 17 会議室	
議 題	1 「第 1 回なら・スポーツでまちづくりラウンドテーブル会議」の報告について 2 平成 26 年度体育施設の駐車場有料化について 3 その他	
出席者	委員	高橋会長、上山副会長、加藤委員、谷口委員、辻井委員、坪井委員 中尾委員、中野委員、藤原委員、宮本委員 【計 10 人出席】 （塚本委員、成瀬委員、野阪委員は、欠席）
	事務局	今西部長、萩原次長、松田課長、西川補佐、秋田係長、土田係長、 岡本、谷
開催形態	公開（傍聴人 2 人）	
提言内容	施設整備を進めるためにも財源確保の一環として受益者負担の拡大を図る。	
担当課	市民活動部 スポーツ振興課	
議事の内容		
1 「第 1 回なら・スポーツでまちづくりラウンドテーブル会議」の報告について 【資料 1】		
2 平成 26 年度体育施設の駐車場有料化について 【資料 2】		
3 その他 【資料 3】 【資料 4】 【資料 5】		

事務局 (土田係長)	<p>第2回スポーツ推進審議会開催に先立ち、出席状況の報告。 委員13名の内、10名の委員が出席。 奈良市スポーツ推進審議会に関する条例第7条第1項の規定により過半数を超えていますので、会議が成立したことを報告いたします。</p>
今西市民活動部長	<p>挨拶</p>
事務局 (土田係長)	<p>ここからは、奈良市スポーツ推進審議会に関する条例第5条第3項の規定によりまして高橋会長に進行をお願いしたいと思います。 高橋会長、よろしくお願ひいたします。</p>
高橋会長	<p>挨拶 では、議事に先立ちまして本日の議事を記録にとどめ置くため、議事録署名委員の選出でございますが、私の方から指名させて頂いてご異議ございませんでしょうか。</p>
高橋会長	<p>(「結構です。」の声) ありがとうございます。 ご異議がないようですので、私から指名させていただきます。 辻井委員と中尾委員のお二人をお願いしたいと存じます。どうぞよろしくお願ひいたします。</p>
事務局 (松田課長)	<p>それでは最初に「第1回なら・スポーツでまちづくりラウンドテーブル会議」について事務局から報告がございます。 スポーツ振興課長の松田でございます。どうぞよろしくお願ひ申し上げます。 「第1回なら・スポーツでまちづくりラウンドテーブル会議」についてご報告をいたします。</p>
高橋会長	<p>お手元の【資料1】をご覧頂きたいと思ひます。 スポーツ推進計画を進めていくのにあたり、奈良市のスポーツに係る各団体が相互に連携し、市・地域・各団体の実情・問題を共有しそれぞれの実践的な取り組みにつなげることを目的として、このラウンドテーブルは開催しております。本年度は年1回のみに開催の予定ですが、平成26年度からは、年5回の開催を予定しております。このラウンドテーブルをさらに進めて、プロジェクトチームを作って奈良市のスポーツの推進につなげていきたいと考えております。 【資料1】は、 ・各スポーツ部門に関すること ・スポーツ施設に関すること ・人口構造の変化に関すること でまとめています。ご覧頂き、ご意見頂ければ幸いです。どうぞよろしくお願ひ申し上げます。 ありがとうございます。 お手元の【資料1】をご覧頂きまして、何かご意見ご質問があればよろ</p>

坪井委員	<p>しくお願いいたします。</p> <p>【資料1】に総合型スポーツクラブという形で載っておりますが、これについての取り組みの見通しを教えてくださいと思います。</p> <p>中学校の部活動は生涯スポーツを支える大きな団体だと思っておりますが、中学校の部活動が衰退してきています。何故、衰退してきているのかというと少子化あるいは人事異動により指導者が非常に不足してきてることが挙げられます。人間形成していく上で、部活動は中学校時代には非常に大事なものです。衰退している部活動を元の形を取り戻して行こうとして、どこの府県でも総合型スポーツクラブに力を入れています、奈良市の状況を見ているとその力が足りないところがあります。</p> <p>以上のことから、総合型スポーツクラブの今後の見通しを教えてくださいと思います。</p>
高橋会長	<p>ありがとうございます。</p> <p>ラウンドテーブルでも部活動の問題は挙げられていました。総合型スポーツクラブと学校の部活の連携・協力ということがありますが、どなたかご意見はないですか。</p>
事務局 (松田課長)	<p>奈良市の総合型スポーツクラブは6団体6地域で運営されています。非常に活発に運営されているところもあれば、小規模の運営のところもあります。中学校区に一つずつ総合型スポーツクラブがあることが理想なのですが、そこまでは進んでいないのが現状です。</p> <p>本日ご出席の平城ニュータウンの加藤委員は、総合型スポーツクラブの代表ということでご出席頂いております。平城ニュータウンでは奈良市の代表的な総合型スポーツクラブの活動をなさっています。</p> <p>学校との連携など、ご説明頂けたら有難いと思います。</p> <p>加藤委員、どうでしょうか。</p>
加藤委員	<p>これは、かねてから話題になっていることなのですが、【資料1】にも出ている指導者・スタッフの高齢化があります。高齢化であるが故にお昼の時間が自由になるというか、受け入れの出来るような感じのクラブもあります。</p> <p>ただ、放課後にあたる時間帯で自由に動ける人がいるかというところが難しいところがあります。部活動ですから、活動場所に学校の体育館が使えるということになりますね。</p> <p>『中学校の部活を引き受けてくれるクラブがありますか。』</p> <p>と直接の問いをしたことはありませんが、引き受けてくれるクラブがいくつかはあると思います。</p>
高橋会長 中野委員	<p>ありがとうございます。</p> <p>教育現場としての学校の体育館だけではなく、色々な企業の施設を開放してくれるところが結構あります。学校にクラブのない子供たちがそこに集まる、また行き場のない子供たちがやんちゃの世界に入ることを防止することも含めて、受け皿を学校教育現場以外にもたくさん持ってい</p>

	<p>る地域もあります。私は、そういったところによく指導に行っていました。</p> <p>指導者の方も、先ほど加藤先生が言われたように、高齢の方たちには結構時間がおありなので『元、やっていた』とか『やったことがない』と言いながらも、やりながら子供たちと実力本をひも解いて一緒に勉強して』など、子供たちとコミュニケーションをとりながら愛情深い向き合い方をしてくださっている地域もあります。</p> <p>色々な施設を活用させてもらうという方向で、受け皿を広げてもらうという方法の検討もありと思います。</p> <p>とにかく人口が少ない。子供たちの人口不足、指導者の人口不足。『極力したくない』という指導者も多いので、指導者の教育・意識改革も必要と感じます。</p> <p>今の意見に対してですけれども、行き場のない子供たちを集めて遊びを含めて運動する喜びを教えるというようなことで放課後子ども教室というのがあります。それを、うちのスポーツ推進委員を中心にお手伝い頂ける方を募って活動しています。</p> <p>ただ、そういったときにうちの場合は100%ボランティアなのです。普通にボランティアといっても、交通費が出たりしますが、平城ニュータウンの中だから交通費といっても該当しないし、渡せる名目がなく、またその財源もないという悩みは確かにあります。</p>
加藤委員	<p>どこにもありますよね。手弁当でという。本当に心意気で、自分の子や孫がそこにいるから手伝うといった方が多いですね。</p>
中野委員	<p>そうなのです。その指導する喜びを知った人の中には、孫が卒業しても継続してくれているという方がおられます。</p>
加藤委員	<p>そういった方には何らかの形で少しでも報いてあげたいと思うのです。なかなかそれが難しいのが現状です。</p>
中野委員	<p>小学校の子どもたちには送り迎えが必要で、保護者の力がものすごく必要なのです。学生の方たちにはお金をお支払い出来ないのですけれども、それ以外の今、加藤さんが言われたように継続して続けてくださる指導者の方は継続しているから段々技術も上手くなり指導力も出てきます。そういった方たちの力は大きいですよ。その愛情に甘えて何もしないというのは不憫で仕方ないです。なんとか良い方法がないものでしょうか。</p>
高橋会長	<p>ありがとうございます。</p> <p>学校活動と総合型の連携ということから議論が発展しておりますけれども、他、委員の皆様から何かご意見はないですか。</p>
坪井委員	<p>是非、そういう総合型スポーツクラブを活性化するような…学校の施設は20～22時まで開いているのです。全ての学校でやったらよいと思います。</p> <p>今、奈良の男の子の体力は46位、下は東京だけです。女の子の体力は</p>

<p>中野委員 坪井委員 中野委員 坪井委員</p>	<p>43位です。そんな状況の中でやっていかないといけないです。 子どもたちが夜に活動するということは保護者の協力も必要です。 もちろんそうです。 夜だからいろいろな問題も出てきますよね。 だから、他のところではそういうことも含めてやっているのです。 やって、当たって、また改善して…という形をしている。 今、奈良の地域活動クラブは33%です。以前は47都道府県のうちの47位でした。やっぱりそういうところでは受け皿という点では出来ていないと。出来ていないのだったら、出来るようにするにはどうするのかという辺りを議論して作っていかないといけないと思います。 受益者負担で良いのですよ。子どもからお金を集めたら良いのですよ。保護者からお金を集めたら良いのですよ。今はお金を払わずにスポーツ出来る時代ではないです。そういう形で切り替えてやっていったら良いのではないかと私は思います。</p>
<p>高橋会長</p>	<p>ありがとうございます。 中学校団体のスポーツ活動を如何に支援していくかということはラウンドテーブルでも大きな課題になると思います。</p>
<p>事務局 (松田課長)</p>	<p>総合型地域スポーツクラブのご意見を頂いています。学校開放についてはラウンドテーブル会議の中でも話題になっており、後で触れさせて頂きたいと思っていました。今、坪井委員の方からも学校施設の利用という話を頂きました。</p>
<p>中尾委員</p>	<p>総合型を進めていく上において、学校開放をどう運営していくのかというひとつの課題を頂きました。ラウンドテーブル会議の取り組みに反映しながら進めていきたいと思います。 坪井先生の方から学校施設が空いているとのことでした。私は、学校施設は空いていないと思っているのですが、その辺はどうなのですか。</p>
<p>事務局 (松田課長)</p>	<p>今、小学校・中学校で学校開放をやっています。かなりの飽和状態で学校開放運営協議会の方にお任せしている部分があります。各学校でたくさん種目をやられていますので、それを中心に総合型地域スポーツクラブを立ち上げるというのもひとつの方法ではないかと思えます。この辺りのところは各地域の事情もございますので、その取り組みについては、今後ラウンドテーブルの中で話を進めていきたいと考えております。</p>
<p>辻井委員</p>	<p>辻井委員の方から、小学校の実態というのをお聞かせください。 学校開放は毎日やっております。現状ではフルという感じで夕方から遅い時で22時過ぎくらいまで、社会人の方も含めていろいろな競技をされているのが現状です。そこに新たに入ってくるのは、なかなか厳しい面があるように思っております。曜日によって種目があって、それを取りまとめてということはなかなか出来ておらず、各団が時間枠だけとって後の調整を運営委員会でしているという形です。 そこで大枠のようなものを決めていって奈良市として『各学校の学校開</p>

	<p>放はこのように運営していく』というものがあれば、それに基づいてその競技団体と次に目指していくものが出来るのではないかと思います。</p> <p>今は、とにかく学校任せのなところがあって、各団の思いを寄せ合いで調整しているだけという感じがします。その辺りを全体で出来るものがあつたら、これから違うものが出来ていくのではないかと思います。</p>
坪井委員	<p>『ただ、私はうちの学校でどうか。』と思ったら大概是 20 時半、21 時くらいで終わるのではないかと思います。</p>
加藤委員	<p>コミュニティ会館は 21 時までというルールがあるので、22 時までとなると条例を改正しなければならないと思います。</p>
中野委員	<p>子どもたちの帰る時間のことを考えると、家が一番遠い子を基準にしてどうしても早く閉めてしまうということがあるみたいですね。</p> <p>何かがあつたことを考えて、大概是 21 時ごろですね。</p>
辻井委員	<p>小学校の現場で、子供が活動しているのは最終で遅くても 20 時ごろで保護者も来られていて車で待っています。あとの団体は社会人とか、22 時過ぎという形になるかと思います。</p>
中野委員 事務局 (松田課長)	<p>全部の学校が開放されているのでしょうか。</p> <p>小中学校は全校です。</p>
中野委員	<p>坪井先生が言われた通り、もっと使わないともったいないですよ。</p>
坪井委員	<p>使っているのだけれど、作意的に使われていないということです。そこに奈良市としての方向がないのです。</p>
辻井委員	<p>新規の団体が入り込めないと、時間的なことで近隣の方とトラブルになるということも出てくるので、大きな枠みたいなものがあつたら良いかと思います。</p>
坪井委員	<p>そういう意味で高校では教育委員会が一手にまとめて、年間で希望を募ってという形で場所取りをして頂いています。ただ、実際には県下で一番たくさん学校開放をしている学校でも、合計で一週間は超えないと思います。自校の生徒優先のため、クラブ活動で使っているのがほとんどです。だから、なかなか自分の希望するグラウンドなり体育館は当たらないです。</p> <p>そういう点では、個人が学校開放を利用するのではなく、作意的な利用の仕方というか地域型のスポーツクラブになるような形の利用の仕方を優先していくというような形が望ましいです。今までの既得権があるから非常に難しいことですが、ものがないのですから、そこにメスを入れないと出来ないのです。どうメスを入れるかということを考えていかなければいけないと考えます。</p> <p>奈良市として『地域型でこういうことをする、こういう学校を使う、受益者負担でやる、だからやりたい人はそこに行きなさい。中学生、成人の方、いろいろな方が集まって、そこでやりなさい』といったシステムを作らないとなかなか難しいです。</p>

事務局 (松田課長)	<p>今のように個人が『来て、時間をとって、はい。』という形では難しいと思います。</p> <p>今、学校開放の話が出ていますので関連する『その他』のことをここで、お話しさせて頂きたいと思います。</p> <p>【資料3】になります。学校開放事業の有料化ということも検討していきたいということで、学校開放を行っている全ての学校に有料化を進めていきたいという考えを持っております。現在、小学校で47校、中学校で22校が開放をしています。その使用は無料ということで、光熱水料はじめ、備品も全て学校で費用の負担ということで賄っているというのが現状でございます。</p> <p>受益者負担ということからも、この学校開放に伴う使用料というものを設定できないだろうかということを考えています。料金の徴収方法等いろいろな課題があり、なかなか前に進まないのが現状であります。</p> <p>他市の状況もここに書かせて頂いているのですが、学校開放を有料化している市もあり、こういった市を参考にしながら、来年度に学校開放有料化検討委員会を立ち上げて、平成27年度を目途に学校開放が有料化できないかということを検討していきたいと思っています。</p>
加藤委員	<p>この件について意見を頂けたら有難いと思います。</p> <p>有料化には賛成です。</p> <p>というのは、平城ニュータウンにはコミュニティ会館が2つあり、そこを使うクラブは有料だが、4つの小学校と2つの中学校があり、そこを使うクラブは無料なのですね。その間でも不公平が生じています。何故、みな無料の施設を使えないのかということがあり、住民の方の中には不満があります。均すという意味からも学校開放の有料化というのは良いのではないかと思います。</p>
高橋会長 坪井委員 辻井委員	<p>ありがとうございます。</p> <p>賛成です。</p> <p>光熱水費のことですが、使用団体が他のチームを呼んできた時にも、トイレやトイレットペーパー、いろいろな面でお金を負担しています。体育館に電気が点いていれば学校開放ということになります。実際に負担するものがあることは分かっているのだから、有料化ということも考えていかないと厳しい時代の中だからと思います。</p>
高橋会長	<p>ありがとうございます。</p> <p>ラウンドテーブルについてその他なにかありませんか。</p>
中尾委員	<p>私は、第1回ラウンドテーブル会議に出席させていただきました。参加していろいろな団体、いろいろなところの事情をお互いに知り合うことができるととても良かったと思います。来年度にも、話し合いをして深まっていくのではないかとというのが、私が出席した時の感想でございます。</p>
谷口委員	<p>体育協会の立場で言います。1-③の競技スポーツ、④スポーツ産業というのがあります。</p>

	<p>競技スポーツでいうと、小中までに奈良市でレベルアップすればするほど、選手がよそに流出するという非常に残念なことが随分あります。それをトップ指導者が残念がっているのが現実です。選手の流出を如何にして止められるかということが、奈良県のスポーツとしても非常に大切なことと思います。そのためには、奈良県の高校と競技団体が上手く連携して、競技を強くするためはどうしたらよいか考えるのが非常に大切です。</p> <p>一般の皆様方がスポーツをレクリエーションとして楽しむ一方で、強い選手が他県に流出しないようにする施策が欲しいと思います。</p>
中野委員	<p>有料化の件ですが、アマチュアスポーツはタダで当たり前、してもらって当たり前という意識がものすごく強いです。この意識改革をして保護者を変えていかないとはいけません。</p> <p>指導者の方たちには申し訳ないことがたくさんあります。手弁当で当たり前、ボランティアだからタダで当たり前という風潮がアマチュアスポーツでは多いです。</p> <p>この有料化というものは、施設以外のいろいろな面で、意識改革をしていくように最初から設定して動いていくという形にした方が、後々文句は出ないのではないかと思います。最初タダでやっていて途中で変えていくと問題が大きくなります。</p> <p>指導者は、時間も割き、労力も割き、指導力も一所懸命勉強してくださる、人として大事なものをいっぱい子どもたちに提供して下さっているのに、タダで良いのではないかというのは違うのではないかと思います。</p>
谷口委員	<p>最初から最大限の意識をもって指導者・地域・施設と向き合っていくのが良いと思います。</p> <p>指導者側もコーチなど日体協のライセンスを持たないと指導が出来ないということもあり、そのために何万円というお金を各人が支払っています。登録料など、個人の負担は結構高い金額です。ボランティアだけでというわけにはなかなかいかないです。また、保護者は何か事故があったらその指導者にきつく当たるため、気を使って指導をしています。</p> <p>参加者はいくらかの金額を支払い、ボランティア指導者にも何らかの手当て・お礼をするのが当たり前のこととしたりもします。</p>
高橋会長	<p>有意義なご意見を頂きありがとうございます。</p> <p>ラウンドテーブルについては他ございませんか。</p>
加藤委員	<p>ラウンドテーブルにも参加したのですが、3の人口構造の変化に関して、これはスポーツ産業部門の方からの発言がありました。確かに今までは市民が税金を納めて、そのお金を使ってスポーツ振興がなされていたから、タダで出来ていたわけです。それが出来なくなったときに、ではどうするのかということで、ここにもありますように、市場概念を導入する必要があるという意見も説得力があると思います。</p> <p>また、ラウンドテーブルに参加させていただきます。来年度もラウンド</p>

<p>高橋会長</p> <p>事務局 (松田課長)</p>	<p>テーブルが開催される予定でありますので、具体的な振興・推進に結びついていけばという風に期待をしております。</p> <p>では、議題の2番目として「平成26年度体育施設の駐車場有料化について」、【資料2】をご覧頂きながら進めたいと思います。</p> <p>体育施設の駐車場有料化について検討しているところでございます。</p> <p>ラウンドテーブル会議でもご意見を頂いておりますが、体育施設の大半が老朽化しているのが現状でございます。老朽化している体育施設につきましては計画的に整備を進めていきたいと考えているのですが、今の奈良市の財政状況を勘案して、新たな財源確保を検討しているところでございます。</p> <p>その1つとして体育施設の駐車場有料化を検討しているところでございます。その有料化した費用の一部を体育施設の改修費用に充てること出来ないかということで、平成26年度より西部生涯スポーツセンターの駐車場を有料化したいというのが本日の提案です。この施設は、平日もたくさんの方々にご利用いただいております。駐車場も普段からほぼ満車の状態です。将来的に、この施設の横にイオンが建ち地域が活性化されるということも聞いております。この施設を奈良市体育施設の駐車場有料化の最初のケースとして導入していきたいと思っております。</p> <p>今後、平成27年度4月を目途に、鴻ノ池運動公園駐車場の有料化を進めていきたいと考えております。</p> <p>近隣中核市の大きな体育施設では駐車場を有料化しているところもたくさんございます。この点も参考にしながら【資料2】で提示させて頂いております。3時間を超えると最大300円という料金設定で進めていきたいというのが今の奈良市の考え方でございます。</p> <p>金額・今後の進め方についてもご意見を頂きたいと思っております。どうぞご審議のほど、よろしくお願い申し上げます。</p>
<p>高橋会長 坪井委員</p>	<p>ありがとうございます。なにか、ご意見・ご質問ありますか。</p> <p>駐車場については、私は有料化すべきだと思います。ただ、進め方として、有料化の根拠を示した方が良いと思います。</p> <p>例えば、受益者負担です。不公平を解消します。利用を適正化します。こういうことで、有料化するというのならよくわかります。</p> <p>料金設定にしても、他市ではいくらというのではなく、これだけかかるから、同じ税金を払っているのだから使える者と使えないものがいたら不平等だから応分のお金を設定するという根拠づけをして欲しいです。</p> <p>ここだけでなく、全ての駐車場を有料化します。何故かというと同じ税金を払っているのに、サービスを受けられる人と受けられない人がいるのは不公平だからです。といった形の意義付けをして広報してもらいたいです。広報には時間がかかるかもしれませんが、課長の方から漸次こうやっていきます、西部から始めます、それで良いのですが、無料のものを有料にするには説明責任があるので、責任の所在を明確にした方が</p>

<p>高橋会長 事務局 (松田課長)</p>	<p>良いです。</p> <p>これに関してもう少し補足的な説明をお願いします。</p> <p>説明不足で申し訳ありません。</p> <p>西部生涯スポーツセンターと鴻ノ池運動公園につきましては若干環境も違い状況が違うということもあります。</p> <p>業者といろいろ話をしている中で、コインパーキングの方式を採りたいと思っています。投資には費用のかからない方式を採りたいと考えています。</p> <p>西部の場合は台数が読めますので、業者も有料化するのにメリットがあると考えておられます。駐車台数だけ奈良市に収入があるという方式ではなくて、西部の場合は業者に土地を貸し、一定の金額を得る方式です。複数年契約をする方式を採ろうかと検討しているところでございます。この辺については入札等もございまして、進めていかなければならない問題もたくさんございます。議会の同意も得なければならないこともございますし、これから検討していくところもございます。</p> <p>鴻ノ池の場合は駐車場が点在していて1つのゲートで駐車場を管理するのは不可能な施設です。ゲートをたくさんつけるという問題点があるので、投資に費用がかかります。その辺も含めて平成26年度は施設改修で使えない期間がたくさんあることですので、駐車場有料化を来年度に行っても効果がありません。平成27年度を目途に1年かけてどういう方式が良いのか検討していきたいと思っています。</p> <p>300円という料金設定は安いとは思いますが、今まで無料だったものをいきなり500円、700円に設定では理解を得るのが難しいということでこの金額で設定いたしました。体育施設を利用する方のほとんどは、3時間以上おられますので、ほぼ300円の負担ではないかと思っています。西部の場合は毎日同じ方が来られていますので、かなりの金額を負担いただくこととなります。20日来られたら6,000円ですので、プリペイドカードや月極めの発行等の検討を進めていきたいと考えております。</p>
<p>高橋会長</p>	<p>坪井委員の方から利用者にしかりと説明しなければならないということでご意見を頂きました。その駐車場料金は奈良市の方に入りますが、間接的ではあるがスポーツの振興に結びついているということで説明できるのではないかと思います。</p>
<p>上山委員 事務局 (松田課長)</p>	<p>こういった施設は指定管理者が管理していると思うのですが、特に指定管理者との関係はないという形で進めているのですか。</p> <p>体育施設の建物そのものにつきましては、指定管理者に管理を頂いているのですが、駐車場につきましては駐車場管理会社と奈良市が直接的な契約をするという形で進めて参りたいと考えております。</p> <p>鴻ノ池の場合は運動公園内の駐車場になりますので、公園緑地課とも調整も必要です。以上踏まえて、奈良市と直接業者と入札をして契約し、その歳入につきましては、その一部を体育施設の整備費用に充てるとい</p>

高橋会長 坪井委員	<p>うことで理解を求めていきたいと思います。金額について、今は申し上げられません。</p>
	<p>奈良市の財政事情が非常に厳しい中での新たな財源確保をして、これによって体育施設が整備されていくのだとご理解を頂きたいと思います。</p>
	<p>ご意見・ご質問はないですか。</p>
	<p>財源確保のために駐車場を有料化ということでは説明が難しいと思います。有料化の理由として『不公平感がある』、『利用の適正化』の2つがあると思います。</p>
加藤委員	<p>利用適正化というのは、今、慢性的な渋滞で救急車も入れないような状況です。適正にするために料金をとる、不公平感をなくす。プラス、スポーツ振興の財源にします。というように説明をしないと、『財源にします』だけではなかなか理解が得られないとの心配を持ちました。</p>
	<p>今の意見は、全くその通りだと思います。</p>
	<p>平城高校の隣に駐車場があります。グラウンドやコミュニティ会館を使う人のための駐車場なのですが、ここに駐車して通勤する人がいます。21時に鎖をかけようとしても、いつまでも駐車されたまま、仕方なく鎖をかけると市に苦情が入るということです。今のご意見の通り、適正化を図るためにも有料化は良いだろうと思います。</p>
上山委員	<p>受益者負担の方が良いと思うのですが、候補に挙げられている所以外で採算のとれる場所というのは現時点ではないのですね。</p>
事務局 (松田課長)	<p>奈良市体育施設は色々なところがありますが、ゲートを設置する費用と歳入を考えると採算のとれるところはこの2施設と考えています。</p>
	<p>他府県・近隣中核市を調べますと、有料のところ結構あります。設置費用にかなりの投資をしなければならないので、回収の目途のつくところでないとメリットはないと考えています。</p>
高橋会長	<p>ありがとうございます。</p>
	<p>それでは、事務局には今回頂きました意見を参考にして、この有料化について進めて頂ければと思います。</p>
事務局 (松田課長)	<p>では、最後に今後の展望につきまして、事務局から報告があります。</p>
	<p>奈良市の体育施設の使用料金につきましては、かなりの年数で見直しをしていないという現状があります。消費税も上がることで、他の奈良市の公共施設との関係もございますが、来年度体育施設の使用料の見直しも検討していきたいと考えております。</p>
	<p>体育施設の使用料が安く設定されている現状もあります。また、奈良市の中でプロチーム（バスケットのバンビシャスの使用）の使用もあります。プロの使用となると非常に高額となり、なかなか使いにくいのが現状となります。現状に合わせ、いろいろなことを調査しながら全体のバランスを考え、体育施設使用料の見直しを来年度検討していきたいと考えています。</p>
	<p>ご意見を頂きたいと思います。</p>

高橋会長 辻井委員	<p>体育施設使用料改定ということについて、何かご意見ございますか。</p> <p>学校開放の点から言うと、学校開放を申し込まれる方にとっての魅力はやはり無料であるということです。お金がかからないというのが大きくて、競り合う場合はよそに借りるということになります。その際に、1～2回でいくらかかるのかということをおっしゃるのですね。現状はこの通りです。</p> <p>無料のところは希望者が寄っていくことになるので、『どこを利用してても使用料はかかりますよ。自分たちがその時間を楽しむためには負担も要りますよ。』ということを徹底して伝えていかないと、また無料の施設に集中することになります。</p> <p>一定の有料化の線を示して行ったら良いと思います。</p>
谷口委員	<p>辻井先生がおっしゃったように、体育館を使うときには個人が使用させて頂くということで、一人いくらという統一した金額を払うようにしないと、Aは安い、Bは高いということになれば不公平も出てきます。後から不公平が出てこないように、やはりある程度決まった金額を決めて、体育館を使うときは、これだけの金額が必要なのだという形を付けておいた方が、すっきりする気がします。</p> <p>『一回使用するのにかかる費用はこれだけです。』という参加費のような形が必要なのだと思います。</p>
中尾委員	<p>奈良市の施設の使用料はとても安いと思います。</p> <p>5年に1度、中央体育館をバレーボールで使わせて頂くのですけれども、どの会場よりも安いので『奈良は良いね。』と言われます。</p> <p>しかし、来年度は冷暖房設備の設置も予定して頂いていますし、よその体育館に見合うよう備品も完備して頂いて、良い体育館になっていく方が大切だと思います。</p> <p>料金の設定については、県内の他の体育館との使用料とも比較して決定して頂かなければならないと思います。</p>
事務局 (松田課長)	<p>【資料4】をご覧いただきたいと思います。平成26年度の体育施設改修の予定でございまして、今現在、予算要求をしているところでございます。予算がつかましたら閉場または閉館ということで施設の使用が出来ない期間がございまして。</p> <p>陸上競技場から申し上げますと、インフィールドの拡張工事と申しまして、トラックの内側の芝生の部分と100mから107mのピッチに改修してサッカーの公式試合ができるようにしたいと考えております。</p> <p>これは、現在、奈良クラブという奈良県のプロサッカーチームがJリーグ入りを目指して活動しているのですが、このためだけでなくサッカーの全ての公式試合がこのグラウンドで行えるようになるということに大きなメリットがございまして。</p> <p>工事期間は、8月下旬からで、奈良マラソンの時期は中断し、奈良マラソン終了後に再開、12月31日までと考えております。</p>

次に、中央体育館でございますが、非常に老朽化しておりまして、今の中央体育館を将来どのくらい使用していくのかという問題点もありますが、とりあえずは10年間、使用できるように改修したいと考えております。

10年先になりますと、また新しい中央体育館に変わるようなアリーナ構想など、いろいろな形を考えていかなければならない時期に来ているのではないかとと思いますが、とりあえず10年間は今の中央体育館を使用して、奈良市・奈良県の屋内スポーツの体育館としては、一番大きな体育館でありますので改修を来年度行いたいと思います。

中尾委員からもありましたが、空調設備の導入を検討しているところでございます。空調設備にてつについてはリースという形で、大掛かりな工事をするのではなくて据置型のエアコンを数台設置して十分に効くかどうかということとは分かりにくい点もございますが、今、西宮市の体育館がそういう形で行われていまして、また、奈良県内では天理大の体育館も同じ様なエアコンの使用をされています。そういった据置型のエアコンの設置をしたいと考えております。この工事が6～7月を予定しているのですが、入札等の関係で時期を変更する可能性もございます。

耐震工事につきましては、かなりの期間を要します。8月中旬から奈良マラソンまでは耐震工事にあたるという予定で、この間は閉館させて頂きたいと思っております。

空調設備工事の期間は閉館しないで、2階観覧席部分の工事になりますので、一部観覧席が使用できないと考えております。

年明けたら、床の研磨とトイレの改修も予定しています。床が非常に傷んでいるので大きな事故が起きる前に研磨をして、もう一度金具等の設置もやり直したいと考えております。トイレも非常に老朽化しておりましてトイレの改修も考えており、年明けて2～3月を予定しております。

第2体育館でございますが、中央体育館と合わせて耐震工事、それから床の研磨、トイレの改修工事を予定しております。

中央武道場にも空調設備を設置したいと思っております。

これにつきましては、中央体育館・中央武道場の室温が夏には40℃以上になるという現状もございまして、熱中症等が心配されます。

施設に空調設備を導入することによって、また新たにみなさまに足を運んでいただける施設になっていくのではないかと考えております。

以上、予算がついたらのお話ですので、その点もご理解いただきたいと思っております。

高橋会長

何かご質問・ご意見はありますか。

加藤委員

空調がつくと、やはり使用料も変わるのでしょうか。

事務局

体育施設の使用料そのものにつきましては、先ほど申しました通り、平成26年度中に検討をして平成27年度を目途に改定をしたいと思っておりますが、空調設備につきましてはエアコン使用料という形にしてさせて

(松田課長)

高橋会長 谷口委員	<p>頂きたいと考えております。</p> <p>他にご質問・ご意見はないですか。</p> <p>中央体育館のことなのですが、2月から床の研磨も入れ、トイレもという事です。中央体育館の床には試合コートの角だけラインが入っています。これは10年ほど前の流行でそういった施設が多かったのですが、最近はまだ床にラインを入れる傾向になっております。何故、そうなったかと聞くと、ラインがあった方が使いやすいのです。ラインが無いと使うたびにテープを貼ったりはがしたりで、その都度テープ代が必要になってくるのです。</p>
中尾委員	<p>ラインが無い方が良いとの意見もあるかと思いますが、ぜひ検討いただけたいと思います。</p> <p>それについては、たくさんのラインがあったら逆にそれを消さなくてはならなくなるので、結局同じなのです。</p>
谷口委員	<p>だから、一概にラインを入れる方が良いとは言えないと思うのです。</p> <p>ラインが無いと試合毎にラインテープ代が必要になってきますが、そのラインがあることによって今まであるラインを今度は消さなくてはならないので、消しテープが必要になってきます。結局はラインを消すのも貼るのも同じということになります。</p>
事務局 (松田課長)	<p>種目によっては、ラインがあった方がいいとのご意見もあります。</p> <p>床にラインが描かれていても、試合以外の使用者にはさほど影響しないのではないのでしょうか。大会は、ほぼ土日に行われますが、平日利用の市民の方たちにはラインがあった方が良く、スポーツ振興にも役立つと思います。</p> <p>最近では、大会の為にコートマットを敷く競技もあるので、大会のためにテープを使用しない場合もあります。</p> <p>是非、ご検討下さい。</p> <p>二つの意見を頂いておまして、それぞれのニーズに合わせて体育館を整備するというのは非常に難しいです。この点については、先の話になるので調査をして、中央体育館の使い方そのものを今後考えていかなければならないと考えています。</p>
高橋会長	<p>中央体育館は、普段100%に近い稼働率です。料金が安いので、普段の練習でも使用が出来るのです。他市の同じ規模の体育館は、料金設定が奈良より高いので普段の練習では使えないのが状況です。料金改定をすれば奈良でも体育館使用の形が変わってくると思います。</p> <p>中央体育館は奈良市では一番大きな施設で3,000人を収容できます。そのため、スポーツ以外にも使われます。そういう経済効果も含め、中央体育館の使い方を考えていかなければいけないのが私どもの考えです。</p> <p>今のご意見は、今後の中央体育館の使い方にも影響することですので、検討させて頂きたいと思います。</p> <p>ありがとうございました。</p>

事務局 (松田課長)	<p>奈良市スポーツ推進計画の中にも『施設の充実』ということが上がっていますし、是非予算を付けて頂けたら有難いと思います。</p> <p>では、もう少し説明をお願いいたします。</p> <p>平成 25 年 7 月 1 日より、スポーツ振興課内にスポーツ産業支援グループが出来ております。その事業を平成 26 年度から本格化させて頂きたいと思っております。それが、お手元の【資料 5】「Top Sports City 奈良」という事業でございます。</p> <p>奈良市をホームタウンとするスポーツ推進パートナー事業ということで、トップスポーツのパートナーとして事業を進めていきたいと思っております。</p> <p>主な内容でございますが、</p> <p>一つめは、『学校巡回事業』は、各小学校に希望を募ってから、バンビシヤス奈良や奈良クラブの方々に巡回して頂きスポーツの楽しさ・素晴らしさを伝える事業を展開していきたいと考えております。</p> <p>二つめは、『スポーツ教室事業』ということで、小学生を対象にトップチームが教室を開催して将来のアスリートの育成を行う事業です。</p> <p>三つめは、『市民特別割引試合の開催』。観戦の機会を作って、市民の方々にはそのチケットを割引できるようなシステムを構築していきたいと考えております。</p> <p>四つめは、『ファン感謝デー』ということで、プロスポーツチーム、またはトップチームを集めて、ファンの集いを行うような事業を展開していきたいと思っております。</p> <p>そして、このプロスポーツを支援しながら奈良市のスポーツ産業を支援していくというのが、奈良市のスポーツ産業グループの主な事業でございます。今までなかった新しいスポーツ振興課内の取り組みを平成 26 年度から進めていきたいと思っております。</p>
高橋会長	<p>ありがとうございました。</p> <p>これにつきまして、委員の方々のご質問・ご意見ございますか。</p>
谷口委員	<p>陸上競技場は、サッカーの公式試合が出来るようになるとのことですが、ラグビーの公式試合も出来るようですね。</p>
事務局 (松田課長)	<p>ラグビーの公式試合も出来るようにポールを埋め込む支柱の基礎作りも含めて改修計画の中に入れております。ただ、ラグビーの場合は、芝生が 107m では足りず、ゴールより後ろに人工芝を敷いてトライするエリアを作ることが必要です。この人工芝を設置するのに 2~3,000 万円が必要となります。これは、県のスポーツ振興課とも相談しながらの事になります。2019 年に日本で開催ラグビーワールドカップのキャンプ地として奈良県が手を挙げたいとのこと。その一つの候補地として鴻ノ池運動公園の陸上競技場も挙げられているので、県とも協議をしながら、ラグビーの公式試合も出来るように改修を検討していく予定でございます。</p>

<p>谷口委員</p>	<p>奈良県にも予算的なことで協力をして頂くのはどうですか。県大会の多くは奈良市の陸上競技場でなされるのに、奈良市で改修を全て負担するのは矛盾するのではないのでしょうか。</p> <p>また、プロを呼ぶという意味では、奈良県下に公式試合のできる野球場はないです。佐藤球場でも、2軍の大会しかできません。すぐには無理ですが、将来的に地方である奈良にもプロ・一軍が来て、観衆が入ることのできるようなホームグラウンド施設整備のことを考慮して欲しいです。</p>
<p>事務局 (松田課長)</p>	<p>野球のことについては、上山副会長が高野連会長です。上山副会長より、「奈良市の球場は使えない。」ということも聞いております。</p> <p>そこで、色々な面で県と奈良市が勉強しながら進めているところです。県スポーツ振興課では、奈良県の体育施設で、何が必要で、それをどこに配置するのかということを検討しています。</p> <p>奈良市としても、この施設は奈良市・奈良県にとって必要で有意義な施設であるかどうかを今後検討していかねばならないです。</p> <p>県の体育施設は奈良市に主体をおいているのが現実です。今後も県と上手く連携しながら進めて行きたいと考えております。</p>
<p>上山副会長</p>	<p>上山副会長の方からも、よろしくお願ひします。</p> <p>鴻ノ池球場は、場所が道に面しています。打球が車に直撃することを考えると危険度が高いです。是非新しく作ってほしいと思います。</p>
<p>高橋会長</p>	<p>他、よろしいですか。</p>
<p>坪井委員</p>	<p>今の議案ですが、是非良いものにして頂きたいです。スポーツ振興計画の中には、スポーツの裾野を拡大し、トップの伸長に寄与するという形で大きなものがあります。やはり、底辺を拡大する、生涯スポーツに結びつける。そしてトップの選手の夢・憧れが大きく感じられるようなものにしていきたいと思います。</p> <p>学校巡回事業とありますが、在校生が600人といううちの学校に来ていただいて、どのようなことをするのかというイメージが湧きません。呼ぶ側のニーズを合わせて、是非来てほしいという事業を作ってくれたら有難いです。希望を言いました。</p>
<p>事務局 (松田課長)</p>	<p>本当にその通りでございまして、2020年東京オリンピック・パラリンピックも決定したので、スポーツも新たな局面を迎えています。奈良市もその波に乗り遅れないようにしたいです。事業はやっているだけでなく、魅力的でなければ意味がありません。ニーズをしっかり研究して魅力ある事業にしていきたいと思います。特にプロスポーツは今までの奈良にはなかったことで新たな経済効果が期待され、メリットがある事業ですが魅力がなければ育っていきません。皆様の力をお借りして、この事業を育て内容も充実させていきたいと思います。</p> <p>ご意見を頂きたいと思います。よろしくお願ひします。</p>

谷口委員	【資料5】にスポーツ教室云々と出ています。オリンピックを終えた選手が全国を指導で回るように、日体協がメンバーを組んでいると思います。そういった方を呼ぶのを前向きに考えて頂いて種目の指導をしていただくのはどうですか。ファン感謝デーとありますが、奈良出身のプロ野球選手に鴻ノ池に来て頂き指導をしていただくのです。費用は奈良県や奈良市が持ちます。そのように子供たちに夢を与えることも大事です。
藤原委員	ラウンドテーブルがいよいよ動き出したとのことですが、1回目は何人くらいの参加でしたか。
事務局 (松田課長)	ラウンドテーブルは20名で構成しています。第1回会議には18名の参加がありました。
藤原委員	【資料3・4・5】とありますが、【資料5】は特に深い内容となっています。ラウンドテーブルを作った時に、最終的にはスポーツでまちづくりにつながることを意図していたので、そのことを良く考えて頂きたいと思います。
事務局 (松田課長)	藤原委員には、スポーツ推進計画策定に係っていただきご指導を頂いています。最終的な目標も明確に示されていて、目標達成の為に奈良市のスポーツでまちづくりということを大きなテーマとして頑張っていきたいと思います。またよろしくをお願いします。
宮本委員	スポーツの楽しさ・素晴らしさを伝えて頂けるということは嬉しいことです。小学校巡回というお話ですが、幼児期というのはいろいろなスポーツに興味を持つ時期ですので、幼稚園・保育園への巡回も考えて下さい。
事務局 (松田課長)	小・中と決めましたが、幼稚園・保育園も検討します。
高橋会長	他にご意見・ご質問等はないようですので本日の会議はこれをもって終わります。ありがとうございました。
資 料	<p>【資料1】「第1回なら・スポーツでまちづくりラウンドテーブル会議」の概要</p> <p>【資料2】西部生涯スポーツセンター駐車場有料化について</p> <p>【資料3】学校施設開放事業有料化について</p> <p>【資料4】平成26年度体育施設改修日程表</p> <p>【資料5】奈良市ホームタウンスポーツ推進パートナー事業「Top Sports City 奈良」</p>